



しろね図書館だより

No.104 

発行 新潟市立白根図書館
平成21年1月発行
(毎月第1木曜日発行)

**TOMOTARO
TAKAHASHI**



Private Collection

友太郎私刊本の世界

本邦初公開！ 南区が生んだ造本作家
高橋友太郎の手に成る豪華な秘蔵本の数々を、
ラスベックホールに一挙展示！

1月23日(金)～27日(火)

入場無料 白根学習館ラスベックホールにて

読み聞かせがわかる！ できる！

おはなし講習会、ひらきます。

全3回の日程 (2月7日・3月14日・3月21日)

参加無料 白根学習館2階ルーム1・2にて

申込方法など、くわしくは図書館で

配布予定のチラシをごらんください。



図書館や学校で、絵本や昔話の読み聞かせを
やってみたい！ しろね図書館では今年も、
そんなあなたのために講習会を用意いたしました。
南区で読み聞かせのボランティアをしている方、
これからやってみたい方ならどなたもウェルカム！
わたしたちと一緒に活動しましょう！

あけましておめでとうございます。
あたらし 新し 新し 新し
新しい年の、新しい図書館だよりをお届けします。
しんねん 新年のはじまりは、催し物がいっぱい！
まとめてご案内しちゃいましょう。

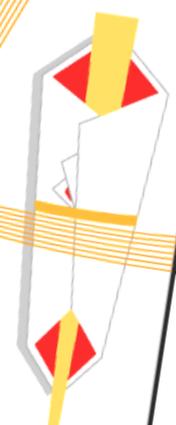
TOMOTARO って何者？

高橋友太郎氏は、旧末方村にゆかりのある造本作家です。本のカタチを
したひとつの芸術品を作り上げる——とにかく本が好きで好きで
たまらず好きが高じてとうとう自分で本を造るまでになった趣味
の人。本への愛を極めたこだわりの一冊一冊、しかとその目に焼
き付けてください。本好きのひとつの到達点が、そこにあります。

1月の展示架

日本の年中行事としきたり

現代の生活スタイルの中で、
ともすれば
忘れられがちな伝統の年中行事。
年はじめのこの時期は、
ちよつと和の気分を
思い出してみよう！ チャンス。
この機会にトライしてみませんか。



12月の

来館者…… 13,461 人

貸出冊数…… 14,138 冊

予約件数…… 298 件

～～ 図書館員がおすすめするこの一冊 ～～

どうぶつ友情辞典

あべ弘士 著

クレヨンハウス (480ア)

今年は「丑年」です。丑、うしに関連する本を探そうと思ったのですが、牛も動物にはかわりない、ということでこの本をご紹介することにしました。

「牛」もちょっぴり書かれています。

著者は、絵本「あらしのよるに」の絵でもおなじみの、あべ弘士さんです。

「どうぶつ友情辞典」、初めて本の背表紙を見たとき、「感動的なエピソード満載」に違いない、と思って手にとりました。が、予想はちょっぴり外れました。でも、面白くてどんどん読んでしまいました。

「辞典」だけあって、目次は項目に分かれ、さまざまな生き物たちが載っています。獅子、豹（ひょう）、虎、象、麒麟？ などなど……なんと「人」も最後の項目にありました！ 確かに人間も動物です。動物園の飼育係としての経験を元に、専門的な説明が並んでいるのかと思いきや、意外にもあっさりとした雰囲気です。ちなみに「牛」の項目では、牛歩、牛舌塩などが書かれています……。藪蛇（やぶへび）、蛇の目傘なども。ちょっとかわった「辞典」ですが、やはり飼育係ならではのエピソードなど、動物たちへの愛情を感じることができます。

お正月、いろんな人に会ったり、楽しいテレビを見たり、出かけた。楽しいけれどちょっと一休み……というときにはぴったりの本かもしれません。

(内山)

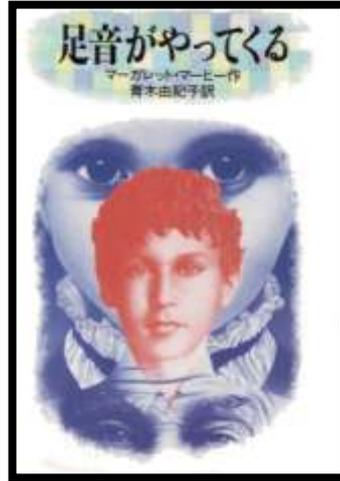


平成20年12月21日(日) 午後2時

『足音がやってくる』

マーガレット・マーヒー 著

(岩波書店)



自分と同じ名の大叔父が死んだあの日から、
バーニー少年の日常は一変した。
幽霊のような少年が現れ、
気味の悪いメッセージを告げたのだ。
そして世界は傾き、
すべては下り坂となって恐怖が走り出す。
夜ごと迫り来る足音。
足音が消えたとたんに鳴る電話。
受話器の向こうから響く「着いたよ」という声。
助けを求められない、絶体絶命のピンチ。
いったい何が起きているのか。
大切なものを守るため、
少年と少女は、魔法使い一族の謎に立ち向かう。
スリルとサスペンス、
そして家族の再生と絆を描いた物語。

★★ 参加者の感想から ★★

- ◆ 十代のときに読んでいたら、無心に物語を楽しんだろうけど、この年になって読むと、ひいおばあさんが子どもに対して抱いていた負の感情のようなものが理解できるような気がする。
- ◆ 無意識のうちには、子どもを卒にはめようとしてしまっていることであると思う。親の期待に比べて、上の子どもは従ってきた。その通りにならなかったコールへの、ひいおばあさんの苛立ちもわかる気がする。
- ◆ 兄弟という形で別々の人格に仮託して書いていくけれど、これは一人の子どもの中にあるいくつもの側面を表しているように思う。一人の人間の中にもいろんな顔があるんだな、ということ。
- ◆ よくある話では継母が意地悪だったりするが、この話では継母のやさしさに救われるものがある。継母は子どもたちにとても気を使っている、家族としてのまとまりをととても大切にしている。
- ◆ この作家は、情景描写に独特の味わいがある。そのまま映像としてイメージしやすい描写が良く出てくる。
- ◆ 一緒に血洗いをしながら、父子が話をするシーン。面と向かつては話しづらいことも、並んで血洗いをしながらだと、かえって話しやすいのかもしれない。キャッチボールをするのと似たようなものだろうか。そこまでは父親はほとんど空気がかと思っただが、ひいお父さんなんだということがわかった。
- ◆ ひいおばあさんが、その外見描写からしてもう凄かった。この人だけは、この事件を経てもほとんど変わらなかつたようだが、最後にちょっと笑みを見せたところに救いがあった。
- ◆ 誰もが秘密を抱え込んだままに生きてきたから、みんな人生が歪んでしまったのかもしれない。でも、子どもたちの世代になって、魔法をありのままに受け入れる道がある気がする。最初から抱え込まずに、腹を割って話し合っていれば、大変なことにならずに済んだだろう。
- ◆ 若い人に夢や希望をもって、悔いの無いように生きて欲しい、というのが作者の思いだったのだろうか。
- ◆ ひいおばあさんは、自分の悪い心がきっかけになった力だから、魔法は悪いことだと考えるようになったのではないだろうか。きっと、本当は魔法に善悪はなく、使う人の心が次第なのだと思う。
- ◆ ひいおばあさんは、自分の力を悪いものとして否定し、押さえ込もうとしたが、その結果、それ以外の個性や長所も失ってしまった。結局のところ、みんな一人ひとりにある特別な力、それが魔法だったのだろうか。誰にだって世界を変えうる力があるのかもしれない。
- ◆ コールは、自分の力のことを普通の人間に理解してもらおうことを諦めていたようだ。だから、唯一わかってくれた人を失ったとき、魔力を持つ者と二人だけの世界で生きていこうと考えたのだろう。自分のことをまるごと受け止めて、理解してくれる人の存在は、何ものにも代えがたい。
- ◆ 「それにわたしたちいっそう家族らしくなつたわ。みんなお互いにいろんなことを言い合って、前よりも仲がよくなったわ」というセリフが、この物語のほとんどを言い表しているように思った。

Next Contents

次回の読書会

『波のうへの魔術師』

石田衣良 著
(文藝春秋)

本は、図書館カウンターで貸し出ししています。
どなたでも気軽に参加できますので、
どうぞおいでください。

(清水)

ルーム 2

1月18日(日) 14:00~



子どもたちといっしょに

いしんぼうのはなこさん

いしい ももこ／ぶん
なかたに ちよこ／え (福音館書店)

絵本は

この他にも
「わらのうし」「ウツバス」
「まくじょうにきてね」「はなのすきなうし」
などたくさんあります。
お楽しみください。



今年「うしどし」です。
うしの絵本の中でもおなじみの
この絵本を紹介します。
あるおひやくしようの家に生まれた
こうしは、「はなこ」となまえを
つけられてかわいがられました。
はなこさんはとてもわがままなこうしで、
うちそうばかり食べておおきくなります。
そんなはなこさんのからだはぴっかぴっか
春になって、やまのぼくじようには
たくさんのこうしがあつまってきます。
わがままなはなこさんはにくめない
とってもかわいいうしです。
でも、かわいがってばかりも
いられませぬよね。
どうやらぼくじようでなにかが
おこりそうです。
ここからは読んでのお楽しみ。
かわいいはなこさんをどうぞ
お子さんで見守ってください。

1月の読書会

街宣車の中で、**血と骨と金**を語る男がいた。

1月18日(日) 14:00~
ルーム2



波のうえの魔術師

石田衣良 著 (文藝春秋)

バブル崩壊後、日本経済が最も破局に近づいた1998年。
主人公の白戸則道は新潟市出身。
職にあふれパチンコ通いの毎日だ。
たまたまあの風変わりな老紳士と出会ったことで、
彼の世界は変化した。
株式市場の魔術師はこの無名の青年を弟子に選んだのだ。
挑むは顧客を食い物にする大都市銀行。
知略の限りを尽くしたふたりの「五週間戦争」——いま開幕!

1月の行事

- 1月10日(土)
おはなしかご例会 10:00~
絵本のじかん 14:10~
おはなし会 14:30~
- 1月14日(水)
あかちゃんがはじめてであうほん
- 1月17日(土)
絵本のじかん 14:10~
おはなし会 14:30~

- 1月18日(日)
読書会(ル-ム2) 14:00~
- 1月23日~27日
友太郎私刊本の世界
(ラスパックホールで展示)
- 1月24日(土)
おはなしかご例会 10:00~
絵本のじかん 14:10~
おはなし会 14:30~



予約ランキング

- ただいま人気の本です。
しばらくお待ちください。
- 1位 聖女の救済 (16名)
 - 2位 ガリレオの苦悩 (13名)
 - 3位 告白 (10名)
 - 4位 夢をかなえるゾウ (9名)
 - 4位 ハリー・ポッターと死の秘宝 (9名)

1月25日(日)
雑誌リサイクル

1月31日(土)
絵本のじかん 14:10~
おはなし会 14:30~